

令和5年度

江東区民健康意識調査

報告書

令和6年3月



江東区

はじめに

本調査は、区民の皆様の健康づくりに対する意識など、前回調査時からの変化を把握するとともに、また現在の課題など新たな設問を組み込み、令和5年9月から10月にかけて江東区民4,200の方にアンケート調査を実施しました。

この調査結果は、令和6年度に行う『江東区健康増進計画（第二次）』『江東区食育推進計画（第三次）』『江東区がん対策推進計画（第二次）』の評価・見直しにあたり貴重な基礎資料として活用してまいりたいと存じます。

今回調査にご協力いただきました区民の皆様には、厚く御礼申し上げます。

令和6年3月

江東区

目次

I 調査実施の概要	1
II 調査結果の要約	9
III 調査結果の分析 《一般区民調査》	19
1 基本的な属性について	21
(1) 基本的な属性	21
(2) 身長・体重	24
(3) BMI	28
(4) 体型についての認知	31
(5) 健康への不安感	35
(6) 不安を感じること	37
(7) かかりつけの医薬機関	40
(8) かかりつけの医薬機関をもっていない理由	44
(9) 定期的な健康診断受診の有無	48
(10) 健康診断の受診場所	50
(11) 健康診断受診後の行動	52
(12) 通院の有無・通院頻度	55
(13) かかっている病気の種類	59
(14) 健康診断を受診しない理由	61
(15) 定期的ながん検診受診の有無	64
(16) 受診したがん検診の種類	65
(17) 健康状態（主観的）	66
(18) 日常生活の充実度	68
(19) 地域の人々とのつながり度	70
2 健康づくりについて	71
(1) 健康に対する関心度	71
(2) 健康に関する情報源	73
(3) 健康づくりのためのICTサービス利用	76
(4) 健康に関する考え方	77
3 生活習慣病について	86
(1) ふだんの生活習慣について	86
(2) 生活習慣病の認知度	94
(3) 健康の面からみた自分の生活習慣	96
(4) 健康維持や健康のための生活改善意向	98
(5) 生活改善の状況	100
4 食生活・栄養について	101
(1) 適正体重の認知度	101
(2) 適正体重を目安とした食事への配慮	103
(3) 適正体重のコントロール	106
(4) 食育への関心度	108

(5) 食事の摂取で心がけていること	110
(6) 食品を無駄にしないための行動	113
(7) 食品を無駄にしないためにしていること	114
(8) 家族や友人などと食事をする機会	117
(9) 地域等で誰かと一緒に食事をする機会の参加希望	123
(10) 外食の回数	124
(11) 栄養成分表示を参考にしている程度	127
(12) 食事バランスガイドの認知度	129
(13) 食事に関しての必要な知識や技術の有無	131
5 身体活動・運動について	133
(1) 運動習慣の有無	133
(2) 1回あたりの運動時間	135
(3) 運動の間隔	137
(4) 運動する場所	139
(5) 運動を続ける理由	141
(6) 運動をしない理由ややめた理由	143
(7) 一日の平均歩行数	145
6 こころの健康・休養について	147
(1) こころと体の休養の充足度	147
(2) 平均睡眠時間	149
(3) 睡眠時間の充足度	151
(4) 悩みやストレスの有無	154
(5) 悩みやストレスの原因	156
(6) ストレス解消の有無	159
(7) ストレスを感じたときの解消方法	161
(8) 悩みやストレスの相談相手	164
(9) うつ病に対する関心度	166
(10) うつ病に関する認知度	168
(11) 精神的に不調になったときに相談、助けを求めることへのためらい	171
(12) 周囲の人が精神的に不調になったときに相談をすすめることへのためらい	173
7 たばこ・アルコールについて	175
(1) 喫煙の有無	175
(2) 喫煙を始めた年齢とやめた年齢	177
(3) 健康のための禁煙意向	181
(4) 喫煙をやめた理由	183
(5) 喫煙が悪影響を及ぼす疾病の認知度	184
(6) この1年間の受動喫煙の経験	186
(7) 受動喫煙を経験した場所	188
(8) 学校や職場での禁煙教育の取り組み	190
(9) アルコール摂取の有無	192
(10) アルコール摂取を始めた年齢とやめた年齢	195
(11) 1回あたりの摂取量	199
(12) 健康のための節酒意向	203
(13) アルコールをやめた理由	206

8	歯・口の健康について	208
	(1) 歯の本数	208
	(2) 歯や歯ぐきの状態	211
	(3) 1日1回は1本ずついねいに歯を磨く習慣	213
	(4) デンタル・フロスや歯間ブラシの使用頻度	215
	(5) 過去1年間の歯科検診受診の有無	217
	(6) 歯や歯ぐきの観察習慣	219
	(7) 食事をかんで食べる時の状態	221
	(8) 歯周病が悪影響を及ぼす病気	223
	(9) 歯・口の健康に対する考え	225
9	健康づくり事業について	227
	(1) 健康づくり事業の利用意向	227
10	自由回答	228
IV	調査結果の分析 《中学・高校生調査》	231
1	基本的な属性について	233
	(1) 基本的な属性	233
	(2) 身長・体重	235
	(3) BMI・肥満度	239
	(4) 体型についての認知	245
	(5) かかりつけの医薬機関	247
	(6) かかりつけの医薬機関をもっていない理由	251
	(7) 健康状態（主観的）	255
	(8) 日常生活の充実度	257
2	健康づくりについて	259
	(1) 健康に対する関心度	259
	(2) 健康に関する情報源	261
	(3) 健康に関する相談相手	263
	(4) 健康づくりのためのICTサービス利用	265
	(5) 健康に関する考え方	267
3	生活習慣病について	276
	(1) ふだんの生活習慣について	276
	(2) 健康の面からみた自分の生活習慣	284
	(3) 健康維持や健康のための生活改善意向	286
	(4) 生活習慣病の認知度	288
	(5) 生活習慣病予防への心がけ	291
4	食生活・栄養について	294
	(1) 適正体重の認知度	294
	(2) 適正体重を目安とした食事への配慮	296
	(3) 適正体重のコントロール	298
	(4) 減量経験の有無	300
	(5) 現在の減量状況	302
	(6) 減量の目的・方法	304

(7) 食事の摂取で心がけていること	307
(8) 食品を無駄にしないための行動	309
(9) 食品を無駄にしないためにしていること	311
(10) 外食の回数	313
(11) 栄養成分表示を参考にしている程度	315
(12) 家族と一緒に食事	317
(13) 家族と食事をするときの会話	319
(14) 食事の提供者	321
(15) 平日の家族との団らんの時間	323
(16) 家族団らんの時間がない理由	325
5 身体活動・運動について	326
(1) 運動習慣の有無	326
(2) 1回あたりの運動時間	328
(3) 運動の間隔	330
(4) 運動する場所	332
(5) 運動を続ける理由	334
(6) 運動をしない理由ややめた理由	336
(7) 一日の平均歩行数	339
6 こころの健康・休養について	341
(1) こころと体の休養の充足度	341
(2) 平均睡眠時間	343
(3) 睡眠時間の充足度	345
(4) 悩みやストレスの有無	348
(5) 悩みやストレスの原因	350
(6) ストレス解消の有無	351
(7) ストレスを感じたときの解消方法	353
(8) 悩みやストレスの相談相手	356
7 たばこ・アルコールについて	358
(1) 喫煙が健康に及ぼす影響についての情報源	358
(2) 喫煙が悪影響を及ぼす疾病の認知度	360
(3) 成人後の喫煙意向	362
(4) 家族における喫煙者の有無	364
(5) 喫煙の有無	366
(6) この1年間の受動喫煙の経験	368
(7) 受動喫煙を経験した場所	370
(8) アルコールが健康に及ぼす影響についての情報源	371
(9) アルコールが悪影響を及ぼす疾病の認知度	372
(10) 成人後の飲酒意向	374
(11) 家族における飲酒者の有無	376
(12) アルコール摂取の有無	378
(13) アルコールを初めて摂取した年齢	380
(14) アルコールを摂取したきっかけ	382

8	歯の健康について	384
	(1) 歯や歯ぐきの状態	384
	(2) 1日1回は1本ずついねいに歯を磨く習慣の有無	386
	(3) デンタル・フロスや歯間ブラシの使用頻度	388
	(4) 1週間に甘味食品を摂る頻度	390
	(5) 1週間に甘味飲料を摂る頻度	392
	(6) 歯や歯ぐきの観察習慣	394
	(7) 歯の健康が体全体に与える影響の認知度	396
	(8) 定期的な歯科検診の受診状況	398
9	自由回答	401
V	調査結果の分析 《乳幼児・小学生調査》	403
1	基本的な属性について	405
	(1) 基本的な属性	405
	(2) 乳児(0歳)と幼児(1~5歳)の身長・体重	407
	(3) 小学生(6歳以上)の身長・体重	411
	(4) 小学生(6歳以上)の肥満度	415
	(5) かかりつけの医療機関	418
	(6) かかりつけの医療機関をもっていない理由	421
	(7) 予防接種の心がけ	425
	(8) こどもの健康状態(主観的)	427
2	健康づくりについて	429
	(1) こどもの健康に関する情報源	429
	(2) こどもの健康に関する相談相手	431
	(3) こどもの健康状態についての悩み	433
	(4) こどもにテレビやスマホ等を見せる頻度	435
3	食生活・栄養について	437
	(1) 食育への関心度	437
	(2) こどもの食生活で心がけていること	439
	(3) こどもの食事の摂取で心がけていること	442
	(4) こどもの朝食の摂取状況	445
	(5) 家族と一緒に食事	447
	(6) こどもの食事の提供者	449
	(7) 栄養成分表示を参考にしている程度	451
	(8) 家庭におけるこどもの健康的な食習慣の形成	453
	(9) 食事に関しての必要な知識や技術の有無	454
4	身体活動・運動について	455
	(1) こどもに運動させる心がけ	455
	(2) こどもの運動や外遊びの頻度	457
	(3) こどもが運動や外遊びをしない理由	459
	(4) こどもが運動や外遊びをする場所	461
	(5) こどもの平均的な運動や外遊びの時間	463
	(6) こどもが運動を続ける理由	465

(7) こどものスポーツ活動や運動の習い事の有無	467
5 こころの健康・休養について	469
(1) こどもの睡眠時間の充足度	469
(2) こどもの平日の就寝時間・起床時間	471
(3) こどものストレスの有無	475
(4) こどもがストレスを感じているときの対処法	477
(5) 子育てに関する気持ち	479
(6) こどものことで困ったり悩んだりしたときの対処法	481
6 たばこ・アルコールについて	483
(1) 家族における喫煙者の有無	483
(2) 家族全員が禁煙することの検討状況	485
(3) 禁煙実行の有無	487
(4) 禁煙をした理由	489
(5) この1年間のこどもの受動喫煙の経験	491
(6) こどもが受動喫煙を経験した場所	492
(7) 学校や職場での禁煙教育の取り組み	493
(8) 家族における飲酒者の有無	494
(9) こどものための節酒の検討状況	495
(10) 節酒実行の有無	496
7 歯の健康について	497
(1) こどもが1週間に甘味食品を摂る頻度	497
(2) こどもが1週間に甘味飲料を摂る頻度	499
(3) こどもへの仕上げ磨きの有無	501
(4) こどもの歯や歯ぐきの観察習慣	503
(5) こどもの定期的な歯科検診の受診状況	505
8 自由回答	507
VI 調査票	509

I 調査実施の概要

1 調査目的

平成31年3月に策定した本区の健康づくり計画である「江東区健康増進計画（第二次）」「江東区食育推進計画（第三次）」「江東区がん対策推進計画（第二次）」（平成31年度～令和6年度の6か年計画）は計画最終年度である令和6年度を目途に評価・見直しを実施することとしている。

今回、区民の健康に関する意識等を把握し、令和5年度の評価・見直し・次期計画策定の基礎資料とするため、江東区民健康意識調査を実施した。

2 調査設計

- (1) 調査地域 江東区内全域
- (2) 調査対象 ①江東区在住の満18歳以上の男女（以下、一般区民調査）
②江東区在住の満12歳～17歳の男女（以下、中学・高校生調査）
③江東区在住の満0歳～11歳の男女（以下、乳幼児・小学生調査）
- (3) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (4) 標本数と調査方法

	標本数(人)	調査方法
①一般区民調査	2,100	郵送法 (郵送配付－郵送・インターネット回収) ※はがきによる再依頼を1回実施
②中学・高校生調査	1,300	
③乳幼児・小学生調査	800	

- (5) 調査期間 令和5年9月19日（火）～10月13日（金）

3 回収結果

	標本数(人)	有効回収数(人)	有効回収率(%)
①一般区民調査	2,100	951	45.3
②中学・高校生調査	1,300	560	43.1
③乳幼児・小学生調査	800	391	48.9
合計	4,200	1,902	45.3

4 調査内容

	設問内容	一般区民	中学・高校生	乳幼児・小学生
		問番号	問番号	問番号
基本的な属性	性別	問 1	問 1	問 1
	年齢・通学・通園先	問 2	問 2	問 2
	家族構成	問 3		
	居住地区・居住年数	問 4	問 3	問 3
	職業	問 5		
	身長・体重	問 6	問 4	問 4
	体型についての認知	問 7	問 5	
	健康への不安感・健康状態（主観的）	問 8・問12	問 7	問 7
	かかりつけの医療機関	問 9	問 6	問 5
	健康診断	問10		
	がん検診	問11		
	予防接種の心がけ			問 6
	日常生活の充実度	問13	問 8	
	地域の人々とのつながりの強さ	問14		
健康づくり	健康に関する考え方	問18	問13	
	健康に対する関心度	問15	問 9	
	健康に関する情報源・相談相手	問16	問10・問11	問 8・問 9
	健康づくりにICTを用いたサービスの利用	問17	問12	
	こどもの健康状態についての悩み			問10
	テレビやスマートフォンなどをこどもに見せる頻度			問11
生活習慣病	ふだんの生活習慣について	問19	問14	
	生活習慣病の認知度	問20	問16	
	健康の面からみた自分の生活習慣	問21	問15	
	健康維持や健康のための生活改善意向	問21	問13・問15	
	生活改善の状況	問21		
	生活習慣病の予防への心がけ		問17	

	設問内容	一般区民	中学・高校生	乳幼児・小学生
		問番号	問番号	問番号
食生活・栄養	適正体重の認知度・食事・コントロール	問22	問18	
	減量経験の有無・減量状況・目的・方法		問19・問20	
	食育への関心度	問23		問12
	食事の摂取で心がけていること	問24	問21	問14
	食品を無駄にしないための行動	問25	問22	
	家族や友人との食事の機会	問26		
	家族と一緒に食事		問25	問16
	家族と食事をするときの会話		問26	
	食事の提供者		問27	問17
	平日の家族との団らんの時間・時間がない理由		問28	
	地域で誰かと食事をする機会参加希望	問27		
	外食の回数	問28	問23	
	栄養成分表示を参考にしている程度	問29	問24	問18
	食事バランスガイドの認知度	問30		
	食事に関しての必要な知識や技術の有無	問31		問20
	こどもの食生活で心がけていること			問13
	こどもの朝食の摂取状況			問15
家庭におけるこどもの健康的な食習慣の形成			問19	
体活動・運動	運動習慣・時間・間隔・場所・続ける/やめた理由	問32	問29	
	一日の平均歩行数	問33	問30	
	こどもに運動させる心がけ			問21
	こどもの運動や外遊びの頻度・しない理由・場所・時間			問22
	誰の時間がない・疲れているか			問22
	こどもが運動を続ける理由			問22
	こどものスポーツ活動や運動の習い事の有無			問22
こころの健康・休養	こころと体の休養の充足度	問34	問31	
	平均睡眠時間・充足度	問35	問32	問23
	平日夜/朝の就寝/起床時刻			問24
	悩みや不安、ストレスの有無・原因	問36	問33	問25
	ストレスの解消の有無	問37	問34	
	悩み、不安、ストレスを感じたときの解消方法	問38	問35	問25
	悩みやストレスの相談相手	問39	問36	
	うつ病に対する関心度	問40		
	うつ病に関する認知度	問41		
	相談、助けを求めることへのためらい	問42		
	相談をすすめることへのためらい	問43		
子育てに関する気持ち			問26	
こどものことで困ったり悩んだりしたときの対処方法			問27	

	設問内容	一般区民	中学・高校生	乳幼児・小学生
		問番号	問番号	問番号
たばこ・アルコール	喫煙の有無・始めた/やめた年齢・姿勢・やめた理由	問44	問41	
	喫煙が健康に及ぼす影響についての情報源		問37	
	喫煙が悪影響を及ぼす疾病の認知度	問45	問38	
	受動喫煙の経験・場所	問46	問42	問29
	学校や職場での禁煙教育の取り組み	問47		
	成人後の喫煙意向		問39	
	家族における喫煙者の有無		問40	問28
	家族全員が禁煙することへの検討状況			問28
	禁煙実行の有無・禁煙をした理由			問28
	学校や職場での禁煙教育の取り組み			問30
	アルコール摂取・始めた/やめた年齢・量・意向・やめた理由	問48	問47	
	アルコールが健康に及ぼす影響についての情報源		問43	
	アルコールが悪影響を及ぼす疾病の認知度		問44	
	成人後の飲酒意向		問45	
	家族における飲酒者の有無		問46	問31
	こどものための節酒の検討状況・節酒実行の有無			問31
歯・口の健康	歯の本数・歯や歯ぐきの状態	問49・問50	問48	
	1日1回ていねいに歯を磨く習慣	問51	問49	
	デンタルフロスや歯間ブラシの使用頻度	問52	問50	
	過去1年間の歯科健診の受診状況	問53		
	歯や歯ぐきの観察習慣	問54	問53	問35
	食事をかんで食べる時の状態	問55		
	歯周病が悪影響を及ぼす疾病の認知度	問56		
	歯・口の健康に対する考え	問57		
	歯の健康が体全体に与える影響の認知度		問54	
	定期的な歯科検診の受診状況		問55	問36
	1週間に甘味食品/飲料を摂る頻度		問51・問52	問32・問33
	こどもへの仕上げ磨きの有無			問34
健康づくり事業の利用意向	問58			

5 居住地区

今回の調査では、地域的な特性を把握するために、9地区に分けた。

<居住地区内の該当町丁目・街区>

居住地区名	該当町丁目・街区
白河地区	清澄・常盤・新大橋・森下・平野・三好・白河・高橋
富岡地区	佐賀・永代・福住・深川・冬木・門前仲町・富岡・牡丹・古石場・越中島
豊洲地区	塩浜・枝川・豊洲・東雲・有明・辰巳・潮見・青海
小松橋地区	千石・石島・千田・海辺・扇橋・猿江・住吉・毛利
東陽地区	木場・東陽・南砂2丁目1番1号～5号、5番～7番
亀戸地区	亀戸
大島地区	大島
砂町地区	北砂・東砂1丁目～5丁目・南砂1丁目・2丁目24～34番・5丁目
南砂地区	東砂6丁目～8丁目・南砂2丁目（1番1号～5号、5番～7番、24番～34番を除く）3丁目・4丁目・6丁目・7丁目・新砂1丁目～3丁目・夢の島・新木場・若洲・海の森

6 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。従って、数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。従って、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (3) 基数となるべき実数は、(n)として表示している。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 図中の比率の小さい項目については、省略しているところもある。
- (6) 分析の軸(=表側)とした調査回答者の属性や設問は、無回答を除いているため、各調査回答者の属性の基数の合計が全体と一致しない場合がある。また、分析によっては、必要な選択肢を抽出して使用したり、複数の選択肢をまとめて使用しているところもある。
- (7) 『一般区民調査』については、分析の軸(=表側)とした調査回答者の属性や設問で基数が少ないもの(30人未満)を文中では述べないことにし、図表の下段に注釈をつけている。しかし、『中学・高校生調査』と『乳幼児・小学生調査』については、極端に少ない場合を除き、基数が少なくとも全ての分析の軸について述べることにし、図表の下段に注釈をつけている。
- (8) 複数回答における、図表の見方としては、人数の確保できた最も比率の高い層を■で区別するようにした。

- (9) クロス集計の分析で、分析の軸（＝表側）が性別や対になっている項目については、比率の差を記述している。その表現は％ではなく、ポイントであらわすこととし、小数点以下は切り捨てとしている。
- (10) 統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりとしている。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割

7 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$\left\{ \begin{array}{l} N = \text{母集団数 (江東区の人口)} \\ n = \text{比率算出の基数 (回答者数)} \\ P = \text{回答の比率 (\%)} \end{array} \right.$

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

n \ 回答比率(P)	90%または10%程度	80%または20%程度	70%または30%程度	60%または40%程度	50%程度
1,013	±1.89%	±2.51%	±2.88%	±3.08%	±3.14%
700	±2.27%	±3.02%	±3.46%	±3.70%	±3.78%
500	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
300	±3.46%	±4.62%	±5.29%	±5.66%	±5.77%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注／標本誤差の表の見方

標本誤差とは…今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査においては、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,013であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.08%以内（56.92～63.08%）である」とみることができる。

II 調査結果の要約

【一般区民調査】

1 基本的な属性について

- ・自身の体型について、「ふとりぎみ」(44.4%)と「ちょうどよい」(44.8%)がそれぞれ4割台半ばとなっており、過去の調査結果と比較しても大きな違いはみられない。
- ・自分の健康に《不安を感じる》は(74.9%)が7割台半ばとなっている。男性では《不安を感じる》は60歳代で8割台半ば、女性では40歳代で8割台半ばとそれぞれ最も高くなっている。《不安を感じる》と回答した人の不安内容は、「体力が衰えた気がする」(71.5%)が7割を超えて最も高くなっている。
- ・かかりつけの医療機関を「もっている」は、“かかりつけ医”(59.7%)が約6割、“かかりつけの歯科医”(69.8%)が約7割、“かかりつけの薬局”(52.2%)が5割を超えている。過去の調査結果と比較すると、平成29年度から“かかりつけの歯科医”を「もっている」は5ポイント増加している。また、“かかりつけの薬局”は平成25年度から18ポイント増加している。
- ・健康診断を《定期的に受けている》(87.7%)は約9割となっている。一方、「ほとんど受けていない」(10.9%)は1割となっている。健康診断を受診しない理由として、「面倒だから」(35.6%)が3割台半ばで最も高く、女性が男性よりも高くなっている。
- ・定期的ながん検診を「受けている」(46.7%)は4割台半ば、「受けていない」(51.8%)が5割を超えている。
- ・現在の健康状態(主観的)としては、《健康である》(44.6%)は4割台半ば、「普通」(36.4%)は3割台半ば、「あまり健康ではない」(15.4%)が1割台半ばとなっている。性別では、「普通」は女性が男性よりも高く、約4割となっている。男性では、《健康である》が30歳代で約6割と最も高く、60歳代が5割台半ばと続く。一方、女性では、《健康である》は、20歳代が6割台半ばで最も高く、年齢が上がるにつれ減少していく。
- ・地域の人々とのつながりが強いと思うかについて、《そう思う》(18.8%)は約2割、「どちらともいえない」(25.9%)は2割台半ば、《そう思わない》(54.4%)は5割台半ばとなっている。性別では、《そう思う》は女性が男性よりも高く、2割台半ばとなっている。

2 健康づくりについて

- ・健康に対する関心度としては、《関心がある》(85.0%)が8割台半ばとなっており、関心の高さがうかがえる。また、「どちらともいえない」(10.2%)は1割、《関心がない》(4.2%)は1割未満となっている。性別では、《関心がある》は女性が男性よりも高く、約9割となっている。
- ・健康に関する考え方として、《肯定派》では「自分の健康は、自分で守るものだ」(94.0%)が9割台半ばで最も高い。一方、《否定派》では「ふだんから健康に気をつけるよりも、病気になってから病院にいけばよい」(78.6%)が約8割で最も高くなっている。

※《否定派》で「ふだんから健康に気をつけるよりも、病気になってから病院にいけばよい」の比率が高いことは、健康に関する考え方が肯定的であると捉える必要がある。

3 生活習慣病について

- ・ふだんの生活習慣について、《実践派》は「歯・口の健康(むし歯・歯周病)に気をつけている」(79.2%)が約8割で最も高い。一方、《非実践派》は「地域(町会)の集まりや行事、NPO団体やボランティア、趣味のサークル活動などに参加する」(72.3%)が7割を超えて最も高くなっている。
- ・健康の面からみた自分の生活習慣を《よいと思う》(44.9%)は4割台半ば、「どちらともいえない」(28.9%)は約3割、《よくないと思う》(22.6%)は2割を超えている。性別では、《よいと思う》は女性が男性よりも高く、約5割となっている。

自分の生活習慣を《よくないと思う》人で、今後生活を改善しようと《思う》(83.2%)は8割台半ばとなっている。

4 食生活・栄養について

- ・適正体重の認知度は、「知っている」(73.3%)は7割台半ば、「知らない」(22.9%)は2割を超えている。

適正体重を「知っている」人は、食事に「気をつけている」(56.2%)が5割台半ば、「特に気にしない・自然にまかせている」(39.6%)が約4割をなっている。性別では、「気をつけている」は女性が男性よりも高く、約6割となっている。逆に、「特に気にしない・自然にまかせている」は男性の方が高く、4割台半ばである。また、男女とも「気をつけている」は年齢が上がるにつれて漸増する傾向にある。

適正体重を「知らない」人が適正体重をコントロールする意向は、「しようと思う」(52.3%)が5割を超え、「あまり関心がない」(39.9%)が約4割となっている。性別では、「しようと思う」が女性は男性より高く、6割となっている。

- ・食育への関心度は、《関心がある》(67.8%)は約7割となっている。性別では、《関心がある》は女性が男性よりも高く、7割台半ばとなっている。また、男性では、《関心がある》は30歳代が8割を超えて最も高く、年齢が上がるにつれ漸減している。
- ・食事の摂取で心がけていることは、「野菜を多くとるようにしている」(64.4%)が6割台半ばで最も高く、「好き嫌いをしないで何でも食べるようにしている」(51.7%)、「豆・大豆製品を多くとるようにしている」(47.4%)が続く。
- ・誰かと一緒に食事をする機会は、朝食では「週3回以上ある」(36.5%)が3割台半ば、「週1～2回ある」(17.2%)が約2割、「ない」(41.1%)は4割を超えている。平成29年度の調査結果と比較すると、男女とも「週3回以上ある」が減少しており、男性では「ない」が増加している。

昼食について、「週3回以上ある」(32.1%)が3割を超え、「週1～2回ある」(35.0%)が3割台半ば、「ない」(27.7%)は約3割となっている。平成29年度の調査結果と比較すると、男女とも「週3回以上ある」が減少しており、男性では「ない」が増加している。

夕食について、「週3回以上ある」(59.8%)が約6割、「週1～2回ある」(20.3%)が2割と、「ない」(15.2%)は1割台半ばとなっている。平成29年度の調査結果と比較すると、全体では「週3回以上ある」が5ポイント減少している。

全体的に、朝食や昼食を誰かと一緒に摂る頻度が減少しており、特に男性では誰とも食事をしない人が増加している。

- ・外食の回数は、《ほとんど毎日》(14.4%)は1割台半ば、「週2～5回」(43.7%)が4割台半ば、「ほとんど利用しない」(40.9%)が4割となっている。過去の調査結果と比較すると、全体では「週2～5回」は増加傾向、《ほとんど毎日》は減少傾向にある。

5 身体活動・運動について

- ・健康のために定期的に運動・スポーツを「している」(45.1%)は4割台半ば、《現在していない》(53.8%)は5割台半ばとなっている。過去の調査結果と比較すると、男性で「していない」が減少傾向にある。
- ・運動の間隔は、「毎日」(35.9%)が3割台半ば、「週1回以上」(57.3%)が約6割などとなっている。
- ・現在運動をしていない人の運動をしない理由ややめた理由は、「時間がないから」(49.2%)が約5割で最も高く、「面倒だから」(41.2%)が4割を超えている。性別では、「関心がないから」は男性が女性より高くなっている。
- ・一日の平均歩行数は、「5000歩以上8000歩未満」(28.3%)と「3000歩以上5000歩未満」(27.2%)が約3割と高くなっている。

6 こころの健康・休養について

- ・こころと体の休養の充足度としては、《とれている》(63.6%)は6割台半ば、《とれていない》(34.4%)は3割台半ばとなっている。男性では《とれていない》は、40歳代、50歳代、女性では30歳代が高くなっている。
- ・平均睡眠時間は、全体で6.3時間となっている。構成比では、「6時間」(38.4%)が約4割で最も高く、次いで「7時間」(26.7%)が2割台半ばとなっている。
- ・睡眠時間の充足度は、《とれている》(63.1%)は6割台半ば、《とれていない》(35.3%)は3割台半ばとなっている。男女とも《とれている》は70歳代、《とれていない》は40歳代で高くなっている。
- ・悩みやストレスが、《ある》(75.6%)は7割台半ば、《ない》(22.5%)は2割を超えている。《ある》は男性の30歳代、40歳代、女性の20歳代から50歳代で8～9割台と高くなっている。悩みやストレスの原因は、「仕事(転職・転勤、労働条件、働き方等)について」(54.6%)が5割台半ばで最も高く、「自分の健康について」(30.1%)、「経済(収入、失業、借金等)について」(27.6%)、「家族や近親者の健康について」(27.2%)と続く。
- ・ストレスの解消有無は、《解消できている》(67.5%)は約7割、《解消できていない》(30.1%)は3割となっている。ストレスの解消法は、「テレビをみたり音楽を聴く」「家族に相談する」「スポーツ・散歩・趣味などで気分転換する」などが上位にあげられている。男女とも「テレビをみたり音楽を聴く」が第1位となっている。男性の第2位は「スポーツ・散歩・趣味などで気分転換する」、第3位は「睡眠を十分にとる」、女性の第2位は「食事や買い物で発散する」、第3位は「家族に相談する」となっており、性別によって比率の高い順は異なっている。
- ・悩みやストレスの相談相手は、「家族」(65.4%)が6割台半ば、「友人・知人」(54.5%)が5割台半ばで上位2項目が突出している。一方、「相談できる人はいない」(11.0%)は1割を超えている。性別では、「相談できる人はいない」は男性が女性より高くなっている。

7 たばこ・アルコールについて

- ・たばこを《現在吸わない》(85.7%)は8割台半ば、《吸う》(12.3%)は1割を超えている。性別では、「吸わない」は女性が男性よりも高く、7割台半ばとなっている。また、《吸う》は、男性60歳代が3割となっている。過去の調査結果と比較すると、全体では《現在吸わない》は増加傾向にある。
- ・喫煙している人の禁煙意向は、「禁煙しようと考えたことがある」(33.9%)が3割台半ばで最も高くなっている。また、「禁煙したい」(20.5%)は2割であり、平成29年度から8ポイント増加している。
- ・この1年の間の受動喫煙を「経験した」(52.6%)は5割を超えており、男女とも若年層で高くなっている。受動喫煙を経験した場所は「路上」(53.8%)が5割台半ばで最も高くなっている。
- ・アルコールを《現在飲まない》(31.2%)は3割を超え、《飲む》(67.3%)は約7割となっている。性別では、《飲む》は男性が女性より高く、約8割となっている。
- ・《飲む》人の1回あたりの摂取量は「ビール2～3本または日本酒2～3合程度」は男性が女性より、「ビールをコップに1杯程度」は女性が男性より高くなっている。
- ・《飲む》人の節酒意向は「節酒しない」(28.4%)が約3割で最も高く、次いで「病気にならない限りしない」(24.4%)が2割台半ばとなっている。性別では、男性の第1位は「病気にならない限りしない」、女性の第1位は「節酒しない」となっている。

8 歯・口の健康について

- ・歯の本数では、「28本（全部）」（47.3%）は約5割となっている。
- ・デンタル・フロスや歯間ブラシを《使用している》（64.7%）は6割台半ば、「ほとんどない」（33.1%）は3割台半ばとなっている。性別では、《使用している》は女性が男性より高く、7割を超えている。
- ・過去1年間に歯科検診を「受診した」（64.4%）が6割台半ば、「受診しなかった」（33.5%）は3割台半ばとなっている。男性では「受診した」は、40歳代、60歳代、70歳代以上で6割台、女性では「受診した」が80歳以上で約8割と高く、20歳代、30歳代でも7割を超えている。
- ・歯周病が悪影響を及ぼす病気の認知度は、「心臓病」、「糖尿病」、「動脈硬化」、「誤嚥性肺炎」が3割台となっている。一方、「知らない」（40.6%）は4割となっている。

9 健康づくり事業について

- ・健康づくり事業の利用意向としては、機会があれば利用したいのは、「各種がん検診（胃、肺、大腸など）」（65.8%）と「各種の健康診査」（63.0%）が6割台半ばで高くなっている。一方、利用する予定はないのは、「アルコールの飲みすぎや、たばこの害等を改善するための講座や相談」（66.0%）が6割台半ばで最も高くなっている。

【中学・高校生調査】

1 基本的な属性について

- ・自身の体型について、「ふとりぎみ」（22.7%）が2割を超え、「ちょうどよい」（54.8%）が5割台半ば、「やせぎみ」（21.8%）は2割を超えている。性別では、「ふとりぎみ」は女性が男性より高く、約3割、「やせぎみ」は男性が女性より高く、3割を超えている。過去の調査結果と比較すると、全体では「やせぎみ」が平成29年度から5ポイント増加している。
- ・現在の健康状態（主観的）としては、《健康である》（70.6%）は7割、「普通」（20.0%）は2割となっている。性別では、「非常に健康である」は男性が女性より高く、約4割となっている。
- ・毎日を《充実して暮らせている》（84.1%）は8割台半ばとなっており、《充実して暮らせていない》（5.4%）と「どちらともいえない」（9.8%）は1割に満たない。男性では《充実して暮らせている》としては12歳、14歳、15歳が9割前後と高く、女性では12歳、16歳が9割前後と高くなっている。

2 健康づくりについて

- ・健康に対する関心度としては、《関心がある》（60.2%）が6割、「どちらともいえない」（16.3%）は1割台半ば、《関心がない》（23.0%）は2割台半ばとなっている。
- ・健康に関する考え方として、《肯定派》は「健康で長生きするためには、自分の生活の習慣を改めることも必要だ」（91.9%）、「食の安全が確保されていなければ、健康を守るのはむずかしい」（91.8%）、「健康を保つためには、歯・口の機能を維持することが大切だ」（91.2%）、「生活のリズムにあわせて規則正しい食事をとることは重要だ」（90.2%）が9割を超えている。一方、《否定派》は「ふだんから健康に気をつけるよりも、病気になってから病院にいけばよい」（65.2%）が6割台半ばで最も高くなっている。

※《否定派》で「ふだんから健康に気をつけるよりも、病気になってから病院にいけばよい」の比率が高いことは、健康に関する考え方が肯定的であると捉える必要がある。

3 生活習慣病について

- ・ふだんの生活習慣について、《実践派》は「家族が作った料理を中心に食事をとる」(92.5%)が9割を超えて最も高い。一方、《非実践派》は「栄養ドリンクやサプリメントを飲んでいる」(67.5%)が約7割で最も高くなっている。
- ・健康の面からみた自分の生活習慣を《よいと思う》(60.0%)は6割、「どちらともいえない」(18.9%)で約2割、《よくないと思う》(20.2%)は2割となっている。性別では、《よいと思う》は男性が女性よりも高くなっている。
自分の生活習慣を《よくないと思う》人で、今後生活を改善しようと《思う》(89.4%)は約9割となっている。性別では、《思う》は女性が男性より高くなっている。
- ・生活習慣病にならないように、「今から努力して、生活習慣病にならないようにしたいと思う」(60.0%)が6割で最も高くなっている。一方、「生活習慣病にはなりたくないが、健康なのでまだ予防しなくても良い」(23.9%)が2割台半ばとなっている。

4 食生活・栄養について

- ・適正体重を「知っている」(44.5%)が4割台半ば、「知らない」(55.5%)が5割台半ばとなっている。性別では、「知っている」は女性が男性より高く、5割となっている。過去の調査結果と比較すると、全体では平成29年度から「知っている」が5ポイント増加し、「知らない」が5ポイント減少している。
適正体重を「知っている」人は、食事に「気をつけている」(42.6%)は4割を超え、「特に気にしない・自然にまかせている」(48.6%)が約5割、「全く気にしない」(7.2%)が1割未満となっている。過去の調査結果と比較すると、全体では平成29年度から「気をつけている」が5ポイント増加している。
適正体重を「知らない」人が適正体重をコントロールする意向は、「しようと思う」(41.8%)が4割を超え、「あまり関心がない」(50.2%)が5割、「しようと思わない」(8.0%)が1割未満となっている。性別では、「しようと思う」は女性が男性より高くなっている。
- ・食事の摂取で心がけていることは、「好き嫌いをしないで何でも食べるようにしている」(52.7%)が5割を超え、「野菜を多くとるようにしている」(43.9%)が4割台半ば、「ゆっくりよく噛んで食べるようにしている」(32.9%)が3割を超えている。
- ・ふだん《家族と食事をする》(89.5%)は約9割となっている。一方、「一人で食べることが多い」(9.6%)は約1割となっている。男性では「一人で食べるが多い」は17歳が約2割、女性では13歳が約1割台半ばとなっている。
- ・平日の家族との団らんの時間は「30分以上1時間未満」(38.4%)が約4割で最も高く、次いで「1時間以上2時間未満」(23.8%)が2割台半ば、「2時間以上」(19.6%)が約2割となっている。

5 身体活動・運動について

- ・健康のために定期的に運動・スポーツを「している」(55.0%)は5割台半ば、《現在していない》(45.0%)は4割台半ばとなっている。
- ・運動の間隔は、「毎日」(46.4%)が4割台半ば、「週1回以上」(50.6%)が5割などとなっている。
- ・現在運動をしていない人の運動をしない理由ややめた理由は、「塾や習い事で時間がないから」(34.1%)が3割台半ばで最も高くなっている。過去の調査結果と比較すると、全体では「一緒に運動する仲間がないから」が平成29年度から増加している。
- ・一日の平均歩行数は、「3000歩以上5000歩未満」(30.9%)が3割、「5000歩以上8000歩未満」(28.9%)が約3割となっている。

6 こころの健康・休養について

- ・こころと体の休養の充足度としては、《とれている》(72.7%)が7割を超え、《とれていない》(27.3%)は約3割となっている。性別では、《とれている》は男性が女性より高く、7割台半ばとなっている。また、男性では年齢が上がるにつれ、《とれている》はおおむね漸減していく。
- ・平均睡眠時間は、全体で6.9時間、男性で7.1時間、女性で6.8時間となっている。
- ・睡眠時間の充足度は、《とれている》(60.0%)が6割、《とれていない》(39.5%)は約4割となっている。性別では、《とれている》は男性が女性より高く、約7割、《とれていない》は女性が男性より高く、約5割となっている。
- ・悩みやストレスが、《ある》(72.7%)は7割を超え、《ない》(27.2%)は約3割となっている。性別では、《ある》は女性が男性より高く、約8割となっている。また、男性では《ある》は、17歳が8割、15歳が約8割と高く、女性では15歳が約9割を占め、17歳でも8割台半ばとなっている。
悩みやストレスの原因は「勉強について」(66.5%)が6割台半ばで最も高くなっている。男女とも「勉強について」が第1位、「将来(進学・就職)について」が男性第2位、女性第3位、「友達について」が男性第3位、女性第2位となっている。
悩みやストレスの解消法は「ゲーム・インターネット・SNS等をする」(59.8%)が約6割で最も高くなっている。
悩みやストレスの相談相手は、「家族」(68.6%)が約7割、「友人・知人」(65.0%)が6割台半ばと、この2項目が突出している。

7 たばこ・アルコールについて

- ・成人したらたばこを「吸ってみたい」(3.8%)は1割未満、「吸ってみたいと思わない」(86.8%)が8割台半ばとなっている。
- ・喫煙の有無について、「吸ったことがない」(98.9%)がほぼ全数となっている。一方、「吸ったことがあるがすぐやめた」(0.5%)、「ときどき吸っている」(0.2%)、「いつも吸っている」(0.4%)は、少数ながら存在している。
- ・およそ1年の間に「受動喫煙」を「経験した」(50.0%)は5割、「経験しなかった」(49.3%)は約5割となっている。受動喫煙を経験した場所は「路上」(72.9%)が7割を超えて最も高くなっている。
- ・成人したらお酒を「飲んでみたい」(53.8%)が5割台半ば、「飲んでみたいと思わない」(24.3%)で2割台半ばとなっている。過去の調査結果と比較すると、全体では「飲んでみたい」が平成29年度から5ポイント増加し、男性が7ポイント、女性が5ポイント増加している。
- ・アルコール摂取の有無は、「飲んだことがない」(94.6%)は9割台半ばを占めている。一方、「飲んだことがあるが、すぐやめた」(3.8%)、「ときどき飲んでいる」(1.3%)は少数ながら存在する。

8 歯の健康について

- ・歯や歯ぐきの状態について、「ほぼ満足している」(48.4%)は約5割、「やや不満だが、日常生活に困らない」(38.9%)は約4割となっている。
- ・1日1回は1本ずついいねいに歯を磨く習慣は、「している」(51.3%)が5割を超え、「していない」(47.9%)が約5割となっている。平成29年度の調査結果と比較すると、全体、男女とも「している」は減少している。
- ・1週間に甘味食品を摂る頻度は、「ほぼ毎日」(38.0%)が約4割、「週に3～4日」(33.4%)は3割台半ば、「週に1～2日」(18.9%)は約2割となっている。また、1週間に甘味飲料を摂る頻度は、「ほぼ毎日」(28.0%)が約3割、「週に1～2日」(26.1%)と「週に3～4日」(25.9%)が2割台半ばとなっている。過去の調査結果と比較すると、平成29年度から甘味食品・甘味飲料とも「ほぼ毎日」が減少している。
- ・定期的な歯科検診の受診状況としては、「定期的に(1年に1回以上)歯科検診を受けている」(54.6%)が5割台半ば、「定期的に(1年に1回以上)、歯石除去や歯面清掃を受けている」(33.4%)が3割台半ば、「していない」(32.0%)は3割を超えている。過去の調査結果と比較すると、全体では平成29年度から「定期的に(1年に1回以上)歯科検診を受けている」、「定期的に(1年に1回以上)、歯石除去や歯面清掃を受けている」が増加している。

【乳幼児・小学生調査】

1 基本的な属性について

- ・かかりつけの医療機関を「もっている」は、「かかりつけ医」(92.1%)が9割を超え、「かかりつけの歯科医」(77.5%)が約8割、「かかりつけの薬局」(71.6%)が7割を超えている。過去の調査結果と比較すると、平成29年度から「かかりつけの薬局」を「もっている」が増加している。
- ・予防接種の心がけでは、「必ず受けさせようと思う」(66.8%)が6割台半ばで最も高く、次いで「種類により受けないこともある」(30.7%)が3割となっている。
- ・現在の健康状態(主観的)では、「健康である」(93.6%)は9割台半ば、「普通」(6.1%)と「健康ではない」(0.3%)は1割未満となっている。男性では《健康である》は、小学生が9割台半ば、女性では幼児、小学生ともに9割台半ばと高くなっている。

2 健康づくりについて

- ・子どもの健康に関する相談相手は、「家族」(91.3%)が9割を超えて最も高く、次いで「病院や診療所の医師」(67.0%)が約7割、「知人・友人」(50.1%)が5割となっている。
- ・子どもの健康状態についての悩みは、「歯・口の健康(むし歯・歯並びなど)」(33.5%)が3割台半ばで最も高く、次いで「食べ物の好き嫌い」(25.8%)が2割台半ばとなっている。男女とも「食べ物の好き嫌い」は幼児が、「歯・口の健康(むし歯・歯並びなど)」は小学生が高くなっている。

3 食生活・栄養について

- ・子どもの食事の摂取で心がけていることとしては、「栄養のバランスに気をつけている」(73.9%)が7割台半ばで最も高くなっている。
- ・子どもの朝食の摂取状況は、「毎日かかさず食べている」(94.6%)は9割台半ばを占めている。
- ・ふだん家では《家族と食事する》(96.9%)は9割台半ばとなっている。
- ・家庭での食事や生活を通じて、子どもが健康的な食習慣を身につけていくことができると《思う》(84.9%)は8割台半ばとなっている。平成29年度の調査結果と比較すると、全体、男女とも「思う」が大きく減少している。

4 身体活動・運動について

- ・子どもに運動させる心がけを《意識している》(78.8%)は約8割、《意識していない》(7.9%)は1割未満となっている。
- ・子どもの運動や外遊びの頻度は、「毎日」(18.4%)が約2割、「週3～5回程度」(39.4%)が約4割、「週1～2回程度」(31.7%)が3割を超えている。過去の調査結果と比較すると、全体では「毎日」が減少傾向にある。
子どもが運動や外遊びをする場所は、「公園」(77.7%)が約8割で最も高くなっている。過去の調査結果と比較すると、全体では「学校・保育園・幼稚園・学童クラブ・児童館」と「公共のスポーツ施設」が減少している。

5 こころの健康・休養について

- ・子どもの睡眠時間の充足度としては、《とれている》(83.4%)は8割台半ば、《とれていない》(15.9%)は1割台半ばとなっている。
- ・子どもの平日の就寝時間は、「21時台」(41.2%)が4割を超えて最も高くなっている。過去の調査結果と比較すると、全体、男女とも「21時台」が減少傾向にあり、「22時台」は漸増傾向にある。
- ・子どもの平日の起床時間は、「7時台」(58.2%)が約6割で最も高くなっている。過去の調査結果と比較すると、全体では平成29年度から「6時台」が減少し、「7時台」が増加している。
- ・子どもがストレスを《感じている》(68.0%)は約7割、《感じていない》(26.6%)は2割台半ばとなっている。子どもがストレスを感じているときの対処法は、「本人の話を聞く」(84.4%)が8割台半ばで最も高くなっている。
- ・子育てに関する気持ちは、「負担だが楽しい」(68.8%)が約7割で最も高く、次いで「楽しい」(43.5%)が4割台半ば、「悩んでも解決できる」(21.2%)が2割を超えている。平成29年度の調査結果と比較すると、全体では「負担だが楽しい」が増加している。

6 たばこ・アルコールについて

- ・およそ1年の間で子どもが受動喫煙を「経験した」(25.1%)が2割台半ば、「経験しなかった」(74.2%)が7割台半ばとなっている。
- ・子どものための節酒の検討状況は、「節酒を考えたことがある」(28.3%)は約3割、「考えたことはない」(70.8%)が7割となっている。平成25年度の調査結果と比較すると、「節酒を考えたことがある」は増加している。

7 歯・口の健康について

- ・1週間に甘味食品を摂る頻度は、「ほぼ毎日」(39.6%)が約4割、「週に3～4日」(27.1%)が約3割、「週に1～2日」(19.7%)が約2割となっている。過去の調査結果と比較すると、全体では「ほぼ毎日」が平成29年度から増加している。
また、1週間に甘味飲料を摂る頻度は、「ほぼ毎日」(21.5%)は2割を超え、「週に3～4日」(18.7%)は約2割、「週に1～2日」(38.6%)は約4割となっている。平成29年度の調査結果と比較すると、全体は「週に3～4日」が減少し、「週に1～2日」が増加している。
- ・子どもへの仕上げ磨きの有無は、「ほぼ毎日」(60.9%)は6割、「時々」(18.9%)は約2割、「ほとんどない」(20.2%)は2割となっている。
- ・子どもの定期的な歯科検診の受診状況は、「定期的に(1年に1回以上)歯科検診を受けている」(65.0%)が6割台半ばで最も高く、「フッ素塗布を受けている」(45.5%)が4割台半ば、「定期的に(1年に1回以上)、歯石除去や歯面清掃を受けている」(34.8%)が3割台半ばとなっている。

